

会議名 (審議会等名)	第2回 市立川西病院事業経営改革審議会		
事務局 (担当課)	企画財政部政策推進室政策課 内線(2111)		
開催日時	平成20年7月22日(火) 午後6時30分から午後8時		
開催場所	川西市役所 4階 庁議室		
出席者	委員	甲斐会長、青木委員、神竹委員、團野委員、中村委員、吉川委員、原田委員、藤井委員、三木副会長	
		欠席委員：難波委員	
	事務局	角田企画財政部長、本荘政策推進室長、大屋敷政策課長、石田政策課課長補佐、丸山市立川西病院副院長、野崎市立川西病院副院長、鈴木診療部長、中村市立川西病院看護部長、岩井市立川西病院事務長、山田市立川西病院事務次長 監査法人トーマツ(竹内、山口、原田、平田)	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	5人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1. 開会 2. 議事 (1) 診療圏の把握等について ・国保レセプトデータによる分析 ・受療率を用いた推定による疾病別分析 ・現状分析結果と課題の方向性及び今後の調査概要 (2) 今後の予定について (3) その他 3. 閉会		
会議結果	議事について、事務局から説明を行い、委員による意見交換、質疑応答の後、今後の調査項目について了承を得た。		

◆主な発言（要旨）

委員：

- ・直接外来に来られた患者さんが入院する可能性は低く、紹介が増えないことには入院が増えない。
- ・外来の紹介加算は2年前の診療報酬改定で廃止になり、紹介率自体は、ぼやけてしまっているが、とても重要なことではないだろうか。
- ・目玉となる診療科がなく、目玉となる医師も不在、施設も新しくない状況下において、紹介や救急は非常に大事であると考えている。

委員：

- ・資料の8ページに、当院の入院患者シェアとして川西市北部は25%という評価が出ている。北部エリアには当院しかない状況での25%は低いというべきではないだろうか。
- ・専門性に特化し、30～40%まで改善していかなければならないと考える。

委員：

- ・当院は市民のためにクリニックとしての役割を果たしていくのか。または、高度医療に特化する等の特徴を打ち出し収益を上げることを目指すのか。基本方針を決定しないことには方向性が見出せないのではないかと。

委員：

- ・収益の上がる病院にしたい。そのためには、設備投資が必要だと考える。医師1人につき1日80～100人が診療すれば良いが、現状は約20人であり外来ではほとんど収益になっていない。
- ・また、現状では外来に来られた患者さんが入院するケースの方が多いが、紹介からの入院を増やしていきたい。
- ・しかし、思うように紹介率が上がらない。紹介してもらえる医師とそうでない医師に偏りがあるためであると考えている。これを改善するためには待遇の問題になってくるのではないかと考える。

委員：

- ・市立病院のあるべき姿として、北部エリアにクリニックが少ない状況を加味し、クリニックとしての役割を果たしていくべきか、収益を上げる方向で進めていくものかは大変難しい問題である。

会長：

- ・当院が果たすべき役割を整理し、そのために現状分析を行い、それを見据えて今後どのようにすべきか方向性を議論する場にしたい。

委員：

- ・能勢町と豊能町の当院への入院シェアが約10%であるのは、交通の便が悪いためか病院への信頼性が低いためか、どのような理由が考えられるか。
- ・紹介が入院に結びつくと考えるため、まずは各診療所の紹介率を調べるべきだと考える。

委員：

- ・紹介と救急が重要であるが、救急の資料が入っていない。救急の資料もそろえる必要があると考える。

委員：

・新規外来患者が継続して来院しているか、1回のみであったかという患者さんの受療行動を調査する必要があると考える。

委員：

・当院は何が問題なのかを探るためには、診療科別損益に結びつく指標を含んだ資料が必要であると考え。

◆今後の進め方について

・入院経路分析、診療科別損益分析を元に抽出された課題に対し、第1回作業部会において改善オプション案を抽出・検討する。

・その検討結果を踏まえ、第3回審議会で内容を審議する。

◆次回審議会の日程

・第3回審議会は、8月21日（木）午後6時30分～

平成20年度市立川西病院事業経営改革審議会（第2回）会議次第

日時：平成20年7月22日（火）
午後6時30分～
場所：川西市役所 4階 庁議室

1 開 会

2 議 事

(1) 診療圏の把握等について

- ・国保レセプトデータによる分析

- ・受療率を用いた推定による疾病別分析

- ・現状分析結果と課題の方向性及び今後の調査概要

(2) 今後の予定について

(3) その他

6 閉 会

市立川西病院事業経営改革審議会（第2回）出席者名簿

（平成20年7月22日開催）

（五十音順 敬称略）

	氏名	役職名等	備考
1	あおき なほこ 青木 菜穂子	兵庫医療大学看護学部准教授	
2	かい よしたか 甲斐 良隆	関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授	会長
3	かみたけ ひでき 神竹 秀樹	財団法人 甲南病院副理事長兼法人本部長	
4	だんの げんいち 團野 源一	大阪青山大学健康科学部健康栄養学科教授	
5	なかむら きよひで 中村 清秀	川西市コミュニティ協議会連合会会長	
6	なんば みつよし 難波 光義	兵庫医科大学内科学糖尿病科教授	欠席
7	はらだ かずたか 原田 一孝	川西市病院事業管理者	
8	ふじい やすまさ 藤井 康正	兵庫県阪神北県民局県民生活部長	
9	みき あつし 三木 篤志	川西市医師会会長	副会長
10	よしかわ ひでき 吉川 秀樹	大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学（整形外科）教授	

第2回審議会資料

2008年7月22日

目次

1. 国保レセプトデータによる診療圏分析	3
<hr/>	
2. 受療率を用いた推定による疾病別診療圏分析	19
<hr/>	
3. サマリーと今後の予定	26

1. 国保レセプトデータによる診療圏分析結果

国保レセプトデータによる診療圏分析の概要

国保レセプトデータ数

国保レセプトによる診療圏分析には、1市3町(川西市、猪名川町、豊能町、能勢町)それぞれの国保レセプトデータを用いている。各市町村のレセプトデータ数は以下の通りである。

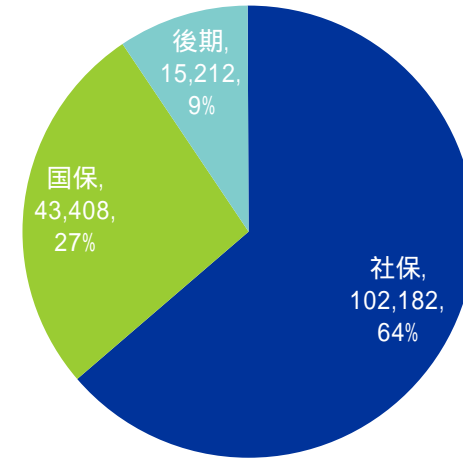
- 川西市(町字別)
 - 入院:796件/外来:31,313件
 - 川西市において、世帯数が10件未満の地域については、個人情報保護の観点からデータを取り除いている。
- 猪名川町(町全体)
 - 入院:115件/外来:4,483件
- 豊能町(町全体)
 - 入院:111件/外来:8,271件
- 能勢町(町全体)
 - 入院:77件/外来:2,346件

国保レセプト依頼項目

国保レセプトの依頼にあたり、以下の事項についての記載を依頼した。(未記入の項目もある)

- 医療機関コード、行政地区コード、通称町コード、住所コード(大字のみ)、性別、生年、診療年月、表別コード、入外区分、給付割合、県外区分、診療開始日、診療実日数、病類コード、初診区分、診療科、入院年月日、決定点数、費用額、種別

川西市におけるレセプトの構成比率(H20年度4月診療分)



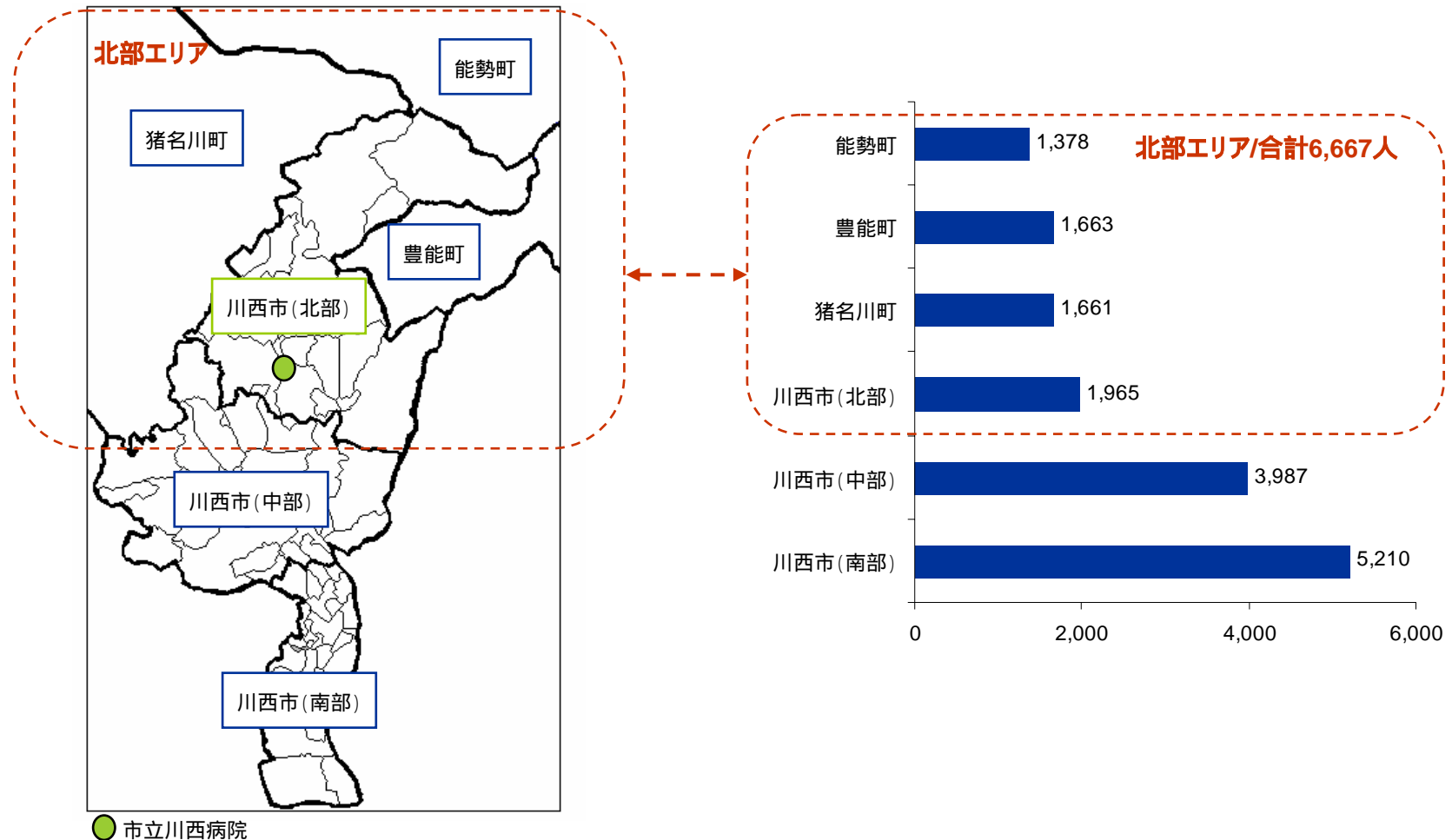
社保:社会保険
 国保:国民健康保険
 後期:後期高齢者保険

- 国保レセプトは川西市の全レセプトの27%となっている。
- 国保レセプトは1市3町から入手している。

診療圈分析結果(入院)

1市3町における国保加入者の延入院患者数はH20年度4月においては15,864人となっており、そのうち北部エリアで6,667人となっている。

1市3町における国保加入者の延入院患者数(人)

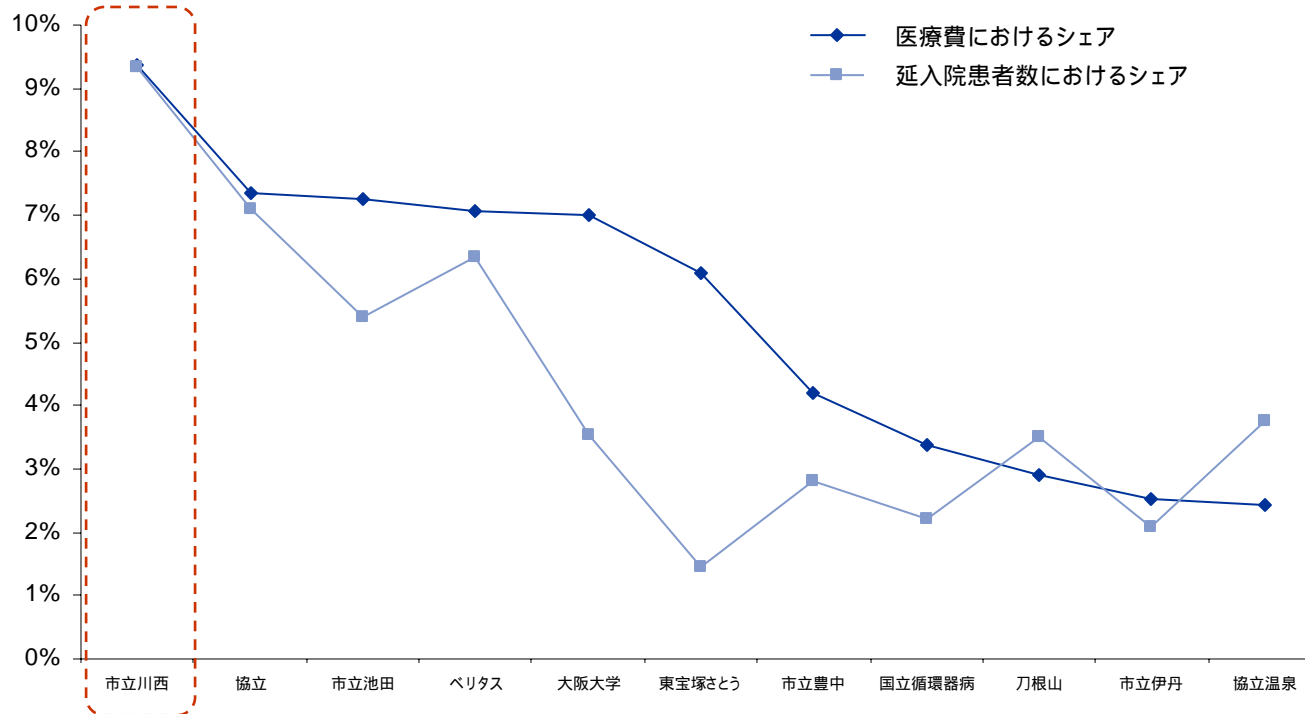


- 第1回審議会資料と同様に「北部エリア」とは、川西市北部に加え、猪名川町、能勢町、豊能町を指している。

出所:1市3町の国保レセプトデータ(1.国保レセプトデータによる診療圏分析において、出所が記載されていないページは全て左記資料を用いている)

1市3町全体における市立川西病院の延入院患者数におけるシェアと医療費におけるシェアは共に9%となっている。

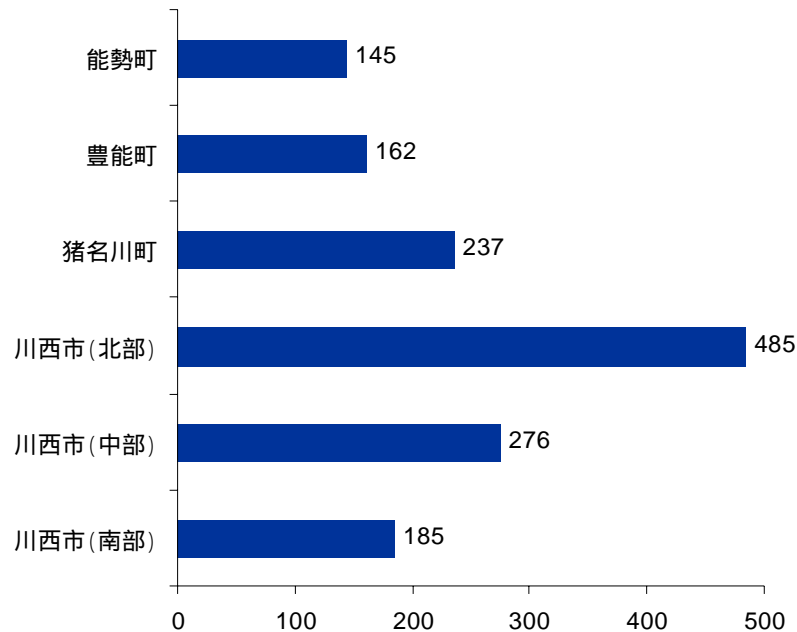
1市3町全体における市立川西病院の延入院患者数のシェアと診療費用のシェア



- 市立川西病院は、延入院患者数におけるシェア、医療費におけるシェアが共に9%となっている。
- 市立池田病院、大阪大学医学部付属病院、東宝塚さとう病院、市立豊中病院は診療費用におけるシェアが延入院患者数におけるシェアよりも高く、患者一人当たり収益が高い。

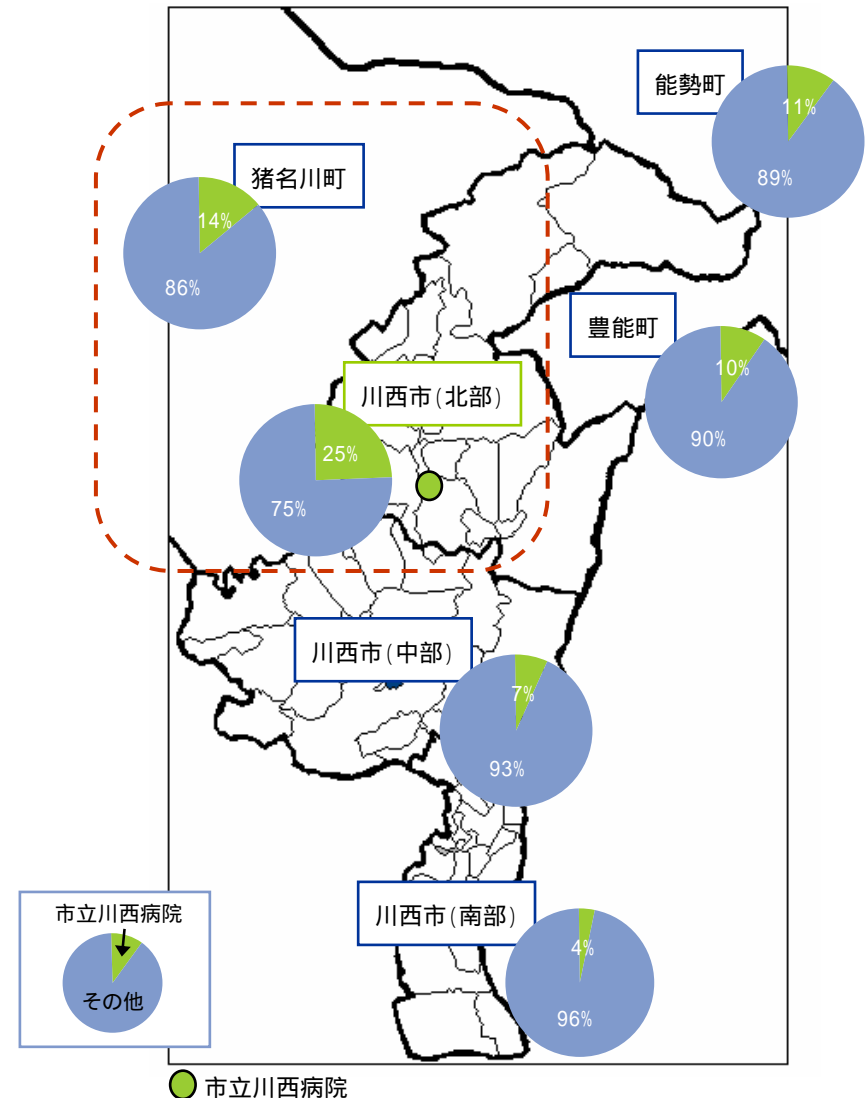
市立川西病院は1市3町から合計1,490人の入院患者を獲得しており、また地域別に見ると川西市北部と猪名川町で他の地域よりも高いシェアを獲得している。

各地域の当院入院患者数(人)



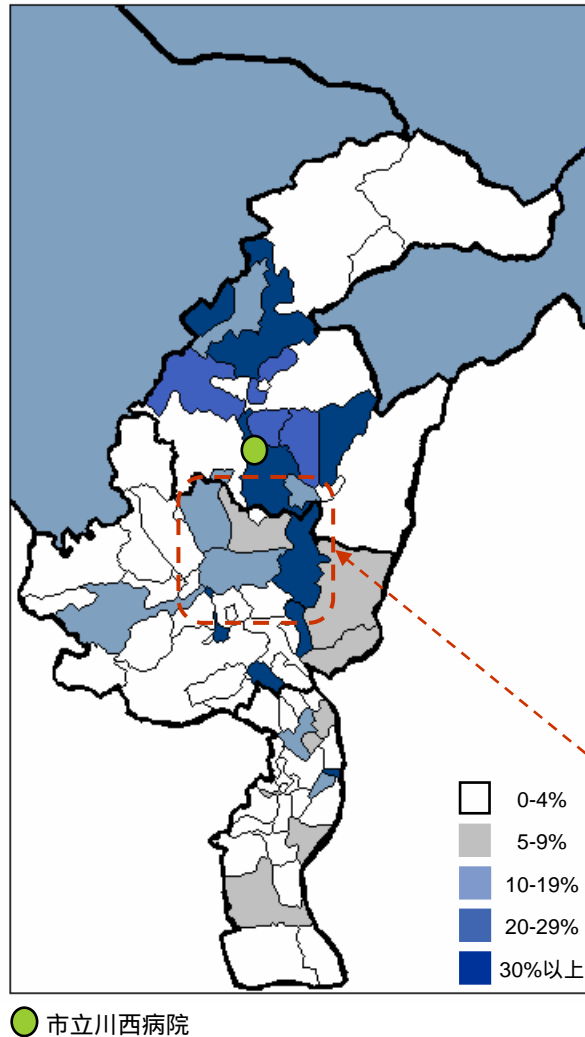
当院の入院患者数は川西市北部が最も多く、次いで川西市中部、猪名川町となっている。

各地域の当院入院患者シェア



川西市について町字別に見ると、川西市北部に加え川西市中部の一部の地域についても高い入院シェアを獲得している。

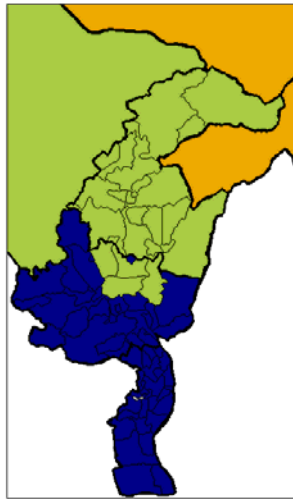
町字別当院入院シェア



地域名	全体患者数(人)	自病院患者数(人)	シェア
一庫	129	42	33%
丸山台	212	21	10%
見野	138	33	24%
黒川	27	0	0%
笹部	35	1	3%
山下町	41	8	20%
山原	0	0	0%
清流台	48	9	19%
西畦野	39	0	0%
大和西	392	105	27%
大和東	434	140	32%
長尾町	5	0	0%
東畦野	212	74	35%
東畦野山手	172	22	13%
美山台	75	30	40%
緑ヶ丘	6	0	0%
北部合計	1,965	485	25%
水明台	397	63	16%
向陽台	353	33	9%
緑台	329	33	10%
平野	46	16	35%
中部合計	1,125	145	13%

1市3町は「川西市北部・中部の一部・猪名川町のエリア」、「能勢町・豊能町エリア」「川西市中部・南部エリア」の3つの地域に大きく分類できる。

1市3町の分類

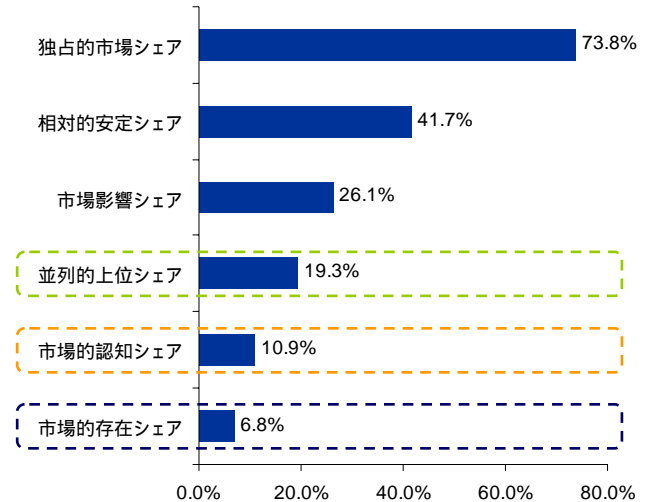


地域に病院が市立川西病院しか存在せず、
当院の入院シェアが20%に近い地域

地域に病院が存在せず、
当院シェアは10%程度の地域

地域に病院が多数存在し、
当院シェアも10%以下が多い地域

【参考】クーポンの目標値(シェアの考え方)

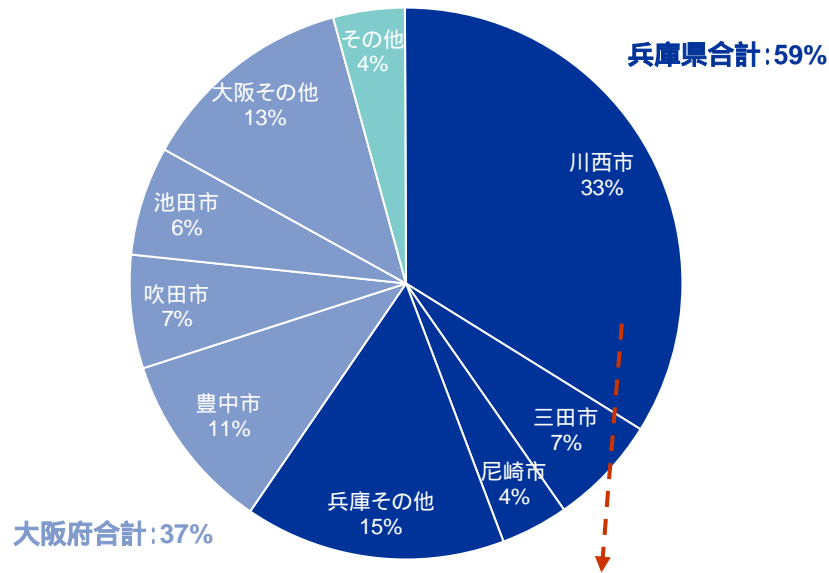


- クーパンの目標値とは、クーポンの提唱したシェアと市場推移の関連性を見極めるための指標である。各シェアの説明は以下の通りである。
 - 独占的市場シェア: 73.9%
 - 首位が絶対安全かつ優先独占の状態
 - 安定的トップシェア: 41.7%
 - 3社以上の競争関係にある場合において、安定的な地位を確保できている状態
 - 市場影響シェア: 26.1%
 - 激戦の競争状態から一歩抜け出した状態
 - 並列的上位シェア: 19.3%
 - 1位或いは2位に複数企業が横並びに拮抗している状態
 - 市場認知シェア: 10.9%
 - 生活者において純粹想起がなされる常態(思い出してもらえる状態)
 - 市場存在シェア: 6.8%
 - 市場において存在が許される状態(言われてやっと思い出す状態)

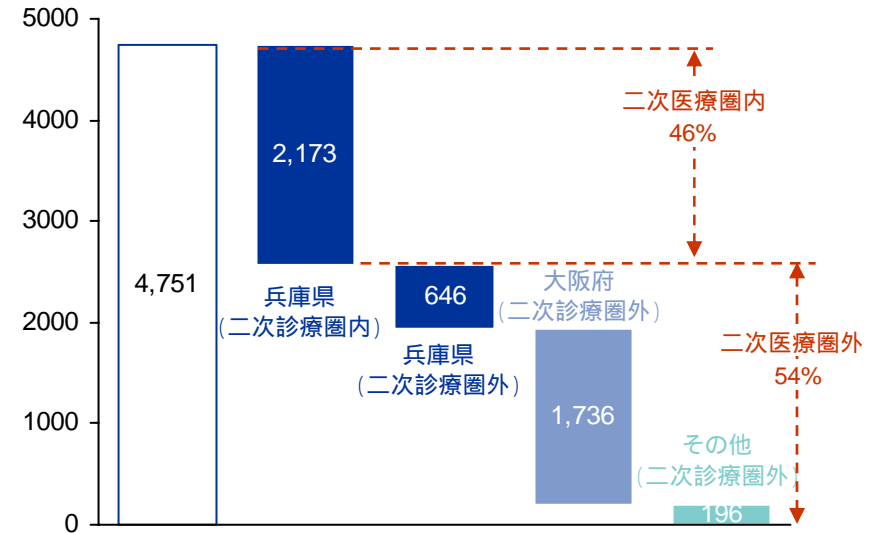


シェアの高い川西市北部・中部の一部・猪名川町において、市立川西病院は18%のシェアを獲得しているが、地域の延入院患者数の半数以上が二次医療圏外に流出している。

市町村別延入院患者構成割合



二次診療圏内外の構成比率



「川西市」の医療機関(人)

病院名	延入院患者数	シェア
市立川西病院	867	18%
医療法人晋真会ペリタス病院	305	6%
医療法人協和会協立病院	205	4%
医療法人協和会協立温泉病院	202	4%
医療法人協和会第二協立病院	30	1%

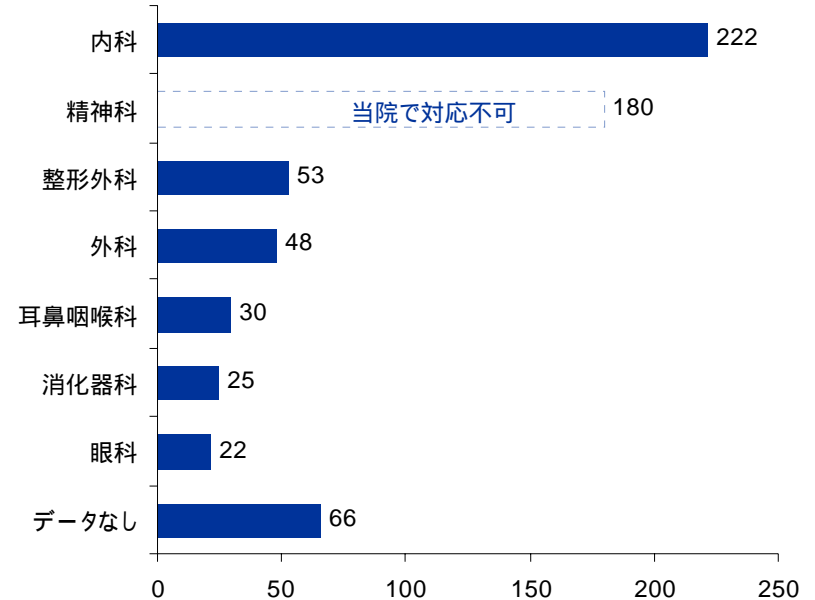
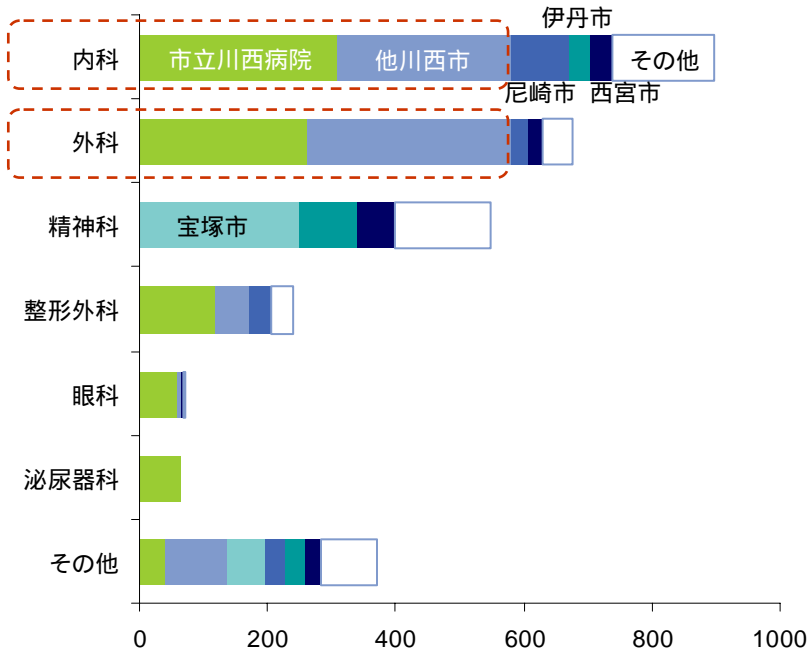
- 川西市北部・中部の一部・猪名川町における延入院患者のうち、54%が二次医療圏外(阪神北医療圏外)に流出している。

川西市北部・中央部の一部・猪名川町において二次医療圏外の兵庫県の市町村に流出している入院患者は、内科、整形外科、外科が多い。



兵庫県内の診療科別延入院患者数(人)

二次医療圏外(兵庫県)の診療科別流出患者数



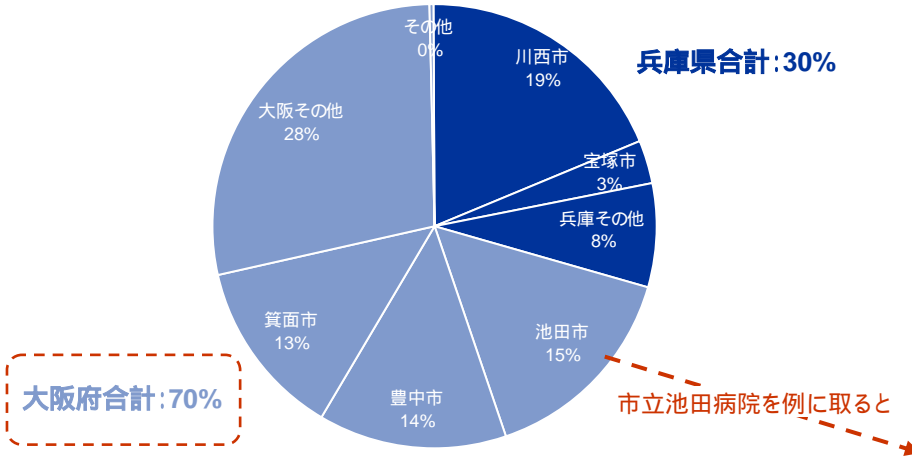
- 診療科別に兵庫県の延入院患者を見ると、内科・外科が多い。
- 内科は外科と比して川西市以外の市町村に流出している割合が高い。

- 当院で対応可能であるにも関わらず、二次医療圏外への患者流出が多い診療科は、内科・整形外科・外科となっている。

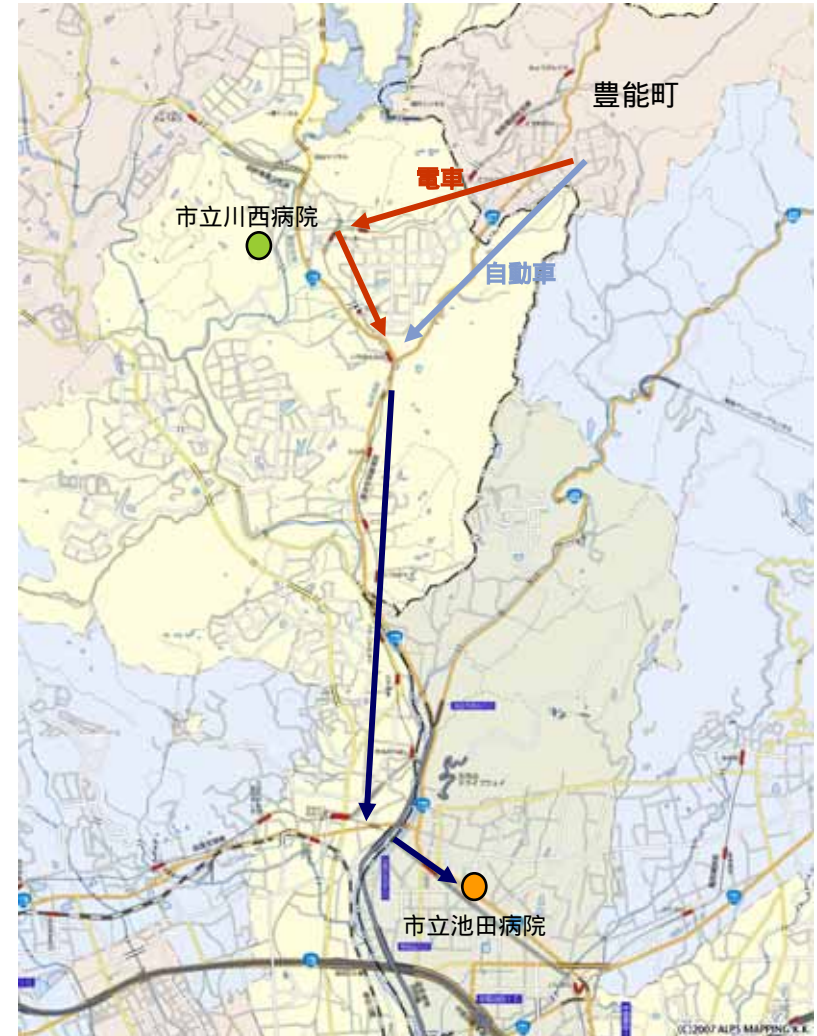


豊能町・能勢町は地理的に川西市に近いにもかかわらず、両地域とも大阪府にある病院の入院シェアが延入院患者全体の約7割を占めている状況にある。

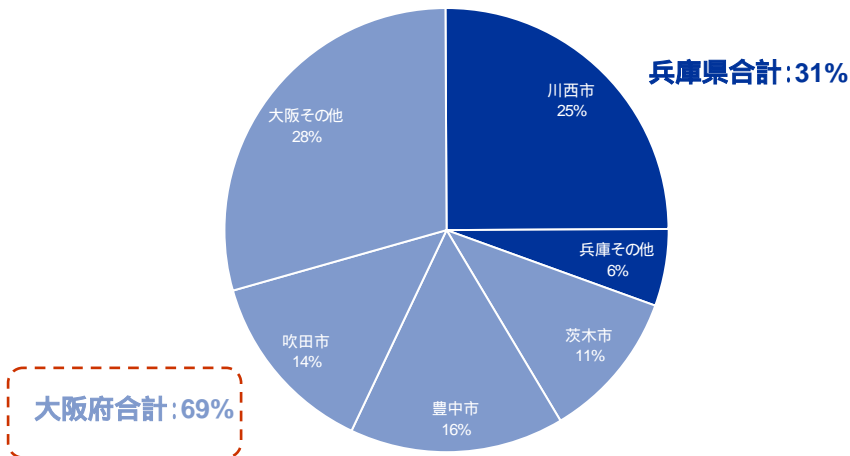
豊能町の市町村別延入院患者構成割合



豊能町の地理的状況



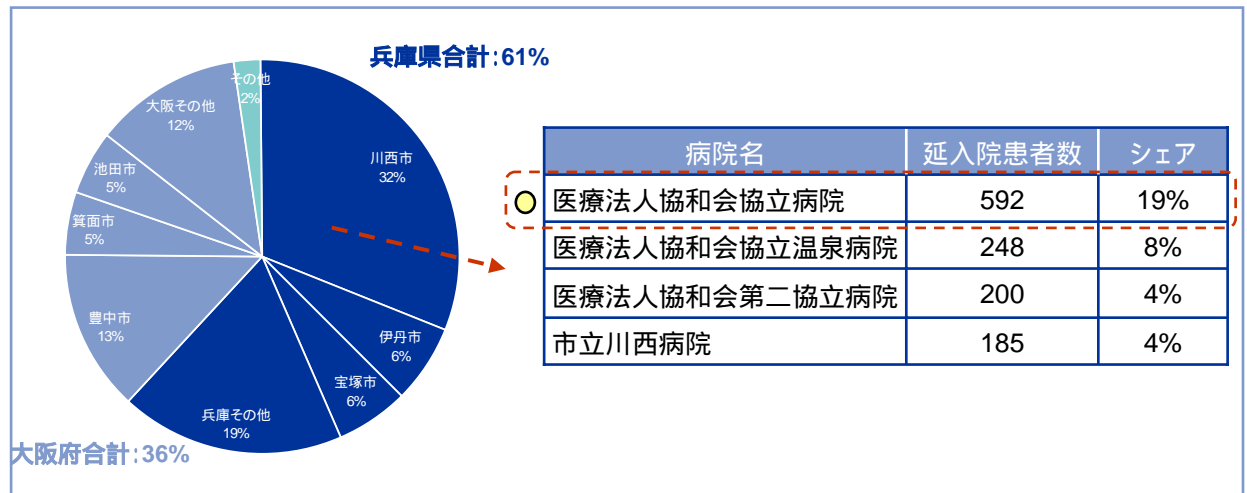
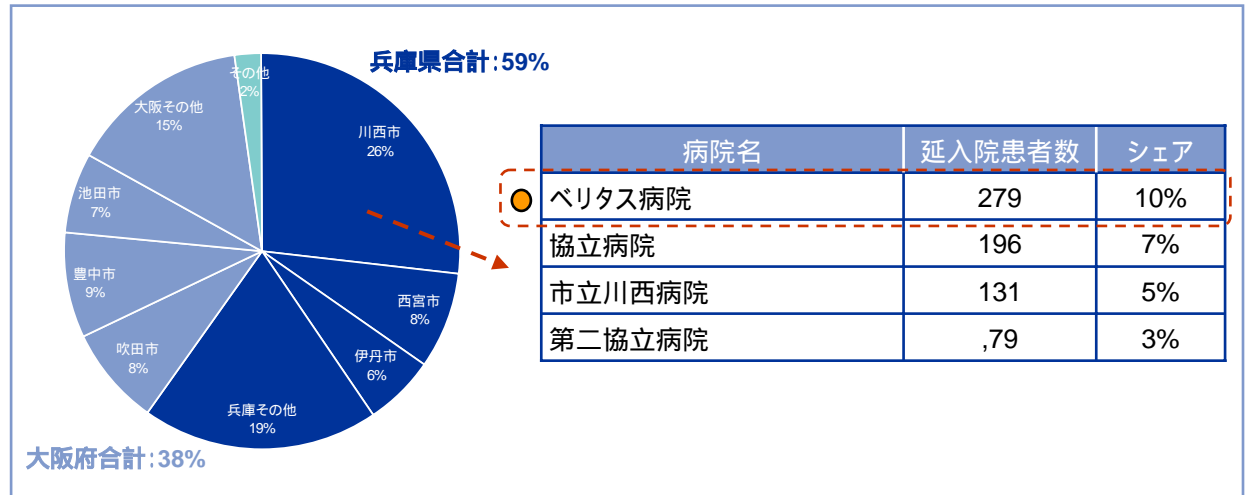
能勢町の市町村別延入院患者構成割合





川西市中部・南部地域については、中部においてはベリタス病院、南部においては協立病院と、それぞれの地域の病院でシェアが高くなっている。

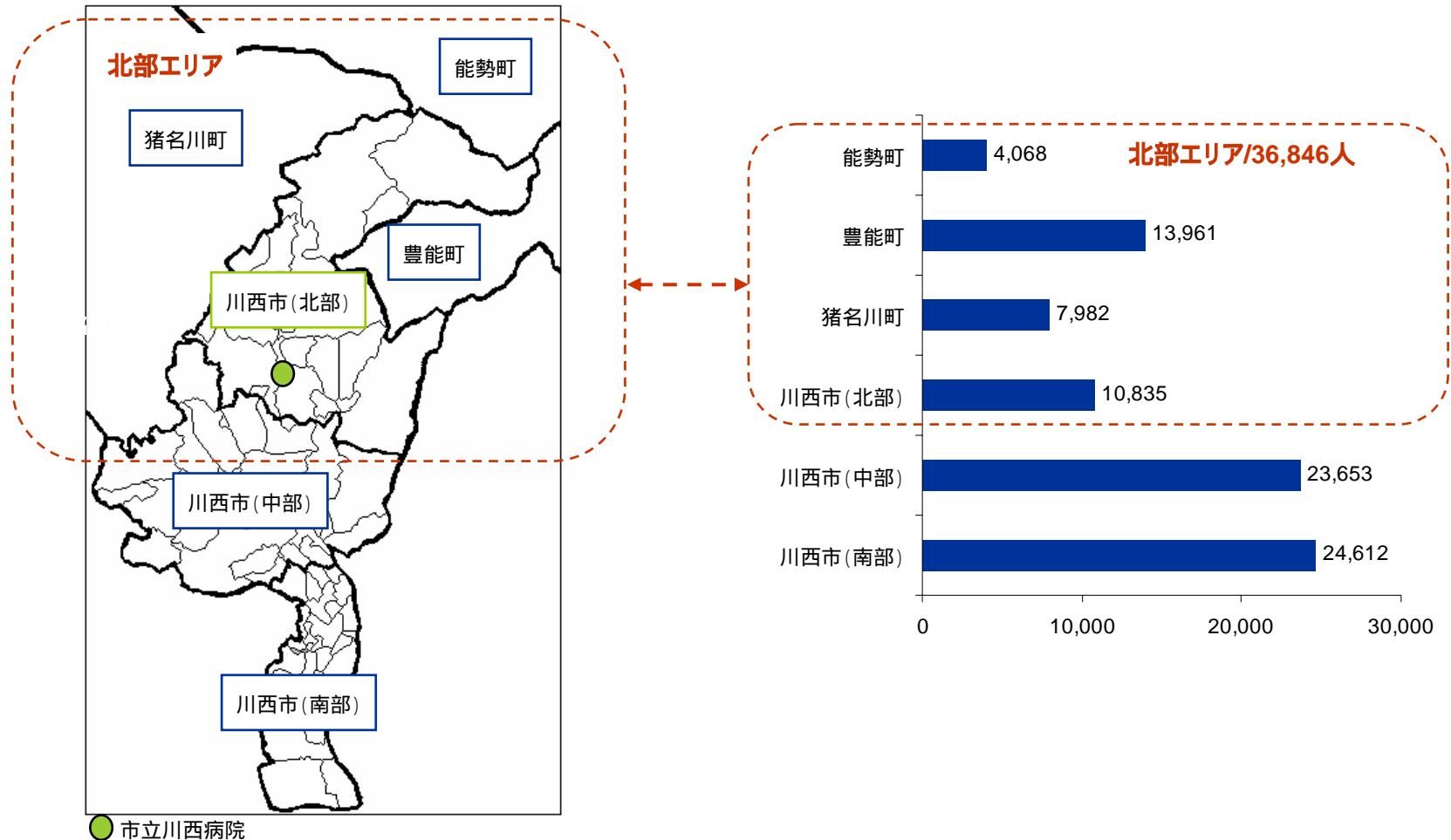
川西市中部、南部における入院患者の受療動向



診療圈分析結果(外来)

1市3町における国保加入者の延外来患者数はH20年度4月においては85,111人となっており、そのうち北部エリアで36,846人となっている。

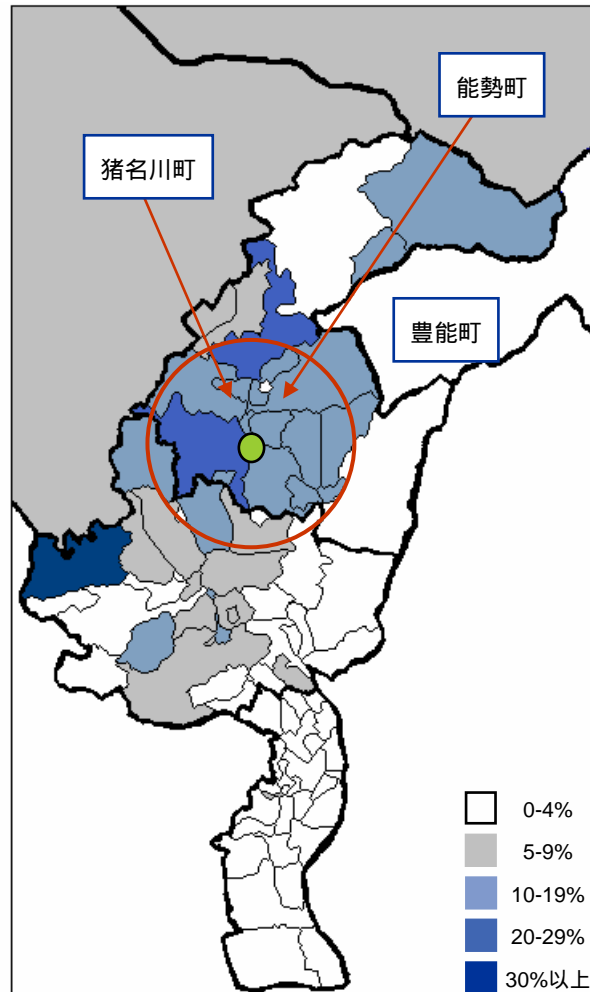
1市3町における国保加入者の延外来患者数(人)



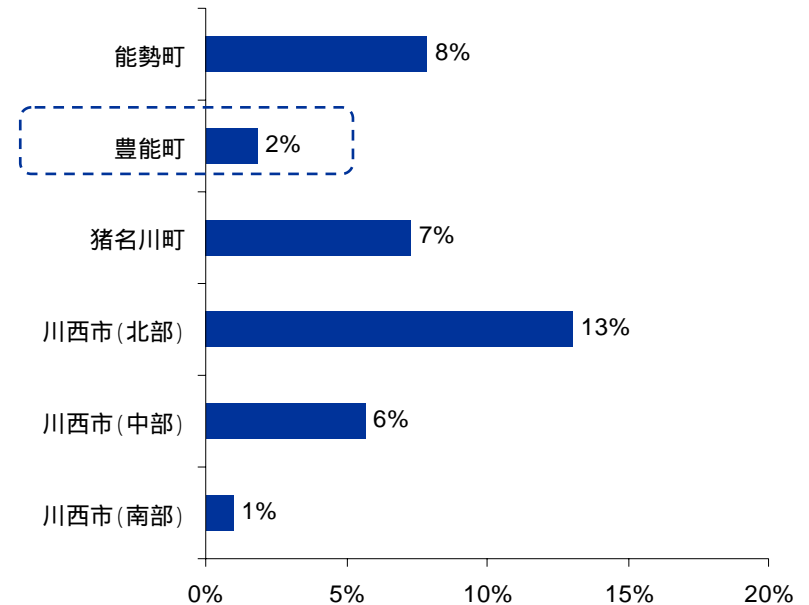
- 北部エリアとは、川西市北部に加え、猪名川町、能勢町、豊能町を指している。

市立川西病院の外来シェアは、当院と近接する川西市北部と中部の一部に加え、距離的に離れている猪名川町、能勢町においても高くなっている一方、豊能町では非常に低くなっている。

外来シェア



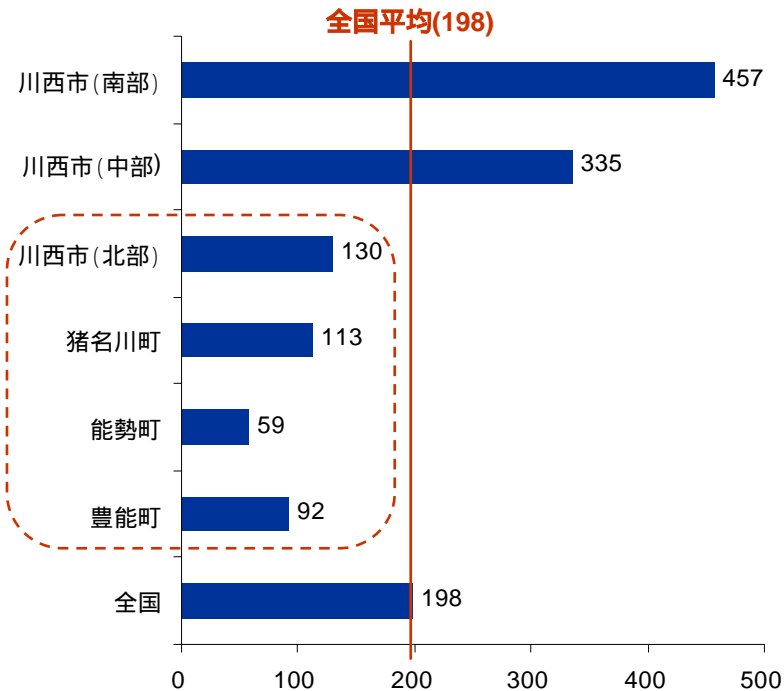
● 市立川西病院



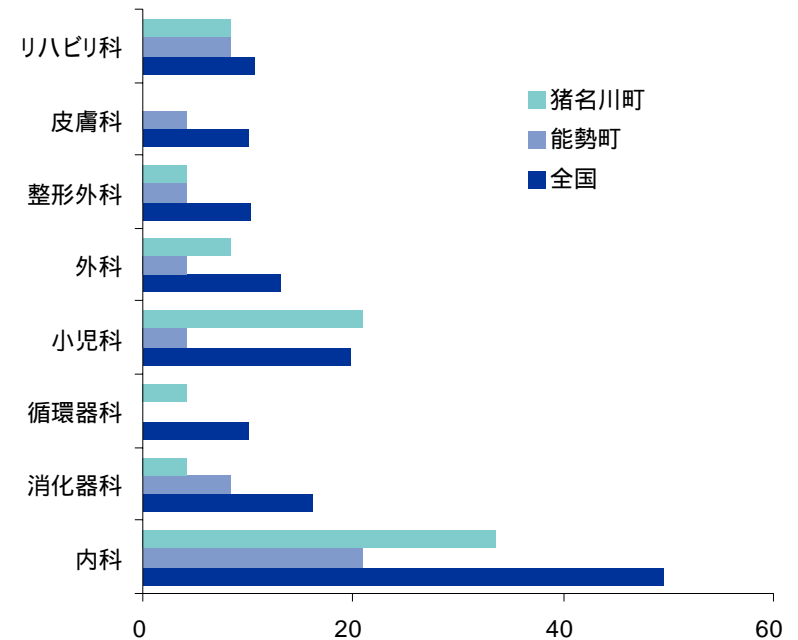
- 当院の外来シェアを見ると、川西市(北部)に加え、猪名川町、能勢町において高いシェアを獲得している。
- 豊能町は、能勢町と比して市立川西病院までの距離が短いにも関わらず、2%と極めて低いシェアとなっている。

診療圏である北部エリアは、全国平均と比べて10万人当たりのクリニック数が少ないため、市立川西病院はクリニックとしての機能も求められていると考えられる。

10万人当たりクリニック数の比較



10万人当たりクリニック数の比較(診療科別)



- 川西市北部、猪名川町、能勢町、豊能町においては、10万人当たりのクリニック数が全国平均よりも少なくなっており、特に猪名川町、能勢町では少ない。
- クリニックとは病床数が20床未満の診療所を指す。

- 猪名川町では、内科、消化器科、循環器科、外科、整形外科のクリニックが少なく、能勢町では全般的にクリニックが少ない。
- 詳細なクリニックの分析については、第3回審議会の〈入院経路分析〉と合わせて行う予定である。

———— 2. 受療率を用いた推定による疾病別診療圏分析 ————

診療圏分析の概要

1.目的 北部エリアの患者数の把握と、属性(診療科別/疾病別の構成、受診病院等)を調査し、市場における機会と脅威、また自病院の強み・弱みを把握する。

2.調査方法

推定患者数の算定: 各市町村年齢別人口 × 性・年齢階級・傷病大分類・都道府県別受療率(厚生労働省「平成17年患者調査」)
(受療率とは、「患者調査」により、ある1日に医療施設に通院又は入院した患者の推計数を人口で除し、人口10万人当たりで示したもの)

診療圏シェアの算定: 市立川西病院入院患者データ(H19年10月16日・火曜日) ÷ 推定患者数

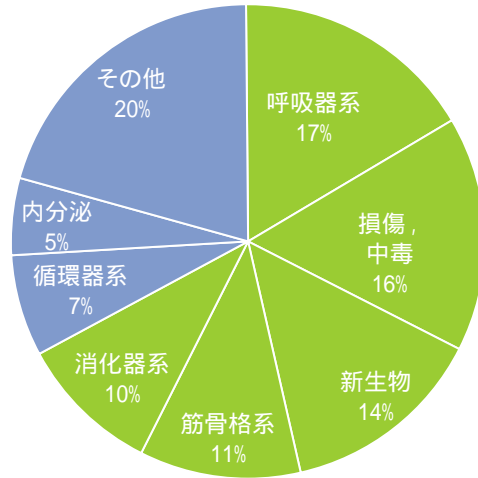
3.1留意事項1 出所を記入していないページに関しては全て上記のデータを用いている。

3.2留意事項2 本編では以下の略称を用いている。

傷病大分類	略称
感染症及び寄生虫症	感染症
新生物	新生物
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	血液
内分泌、栄養及び代謝疾患	内分泌
精神及び行動の障害	精神
神経系の疾患	神経系
眼及び付属器の疾患	眼疾患
耳及び乳様突起の疾患	耳疾患
循環器系の疾患	循環器系
呼吸器系の疾患	呼吸器系
消化器系の疾患	消化器系
皮膚及び皮下組織の疾患	皮膚疾患
筋骨格系及び結合組織の疾患	筋骨格系
尿路性器系の疾患	尿路性器系
妊娠、分娩及び産じょく	妊娠、分娩
周産期に発生した病態	周産期
先天奇形、変形及び染色体異常	先天奇形
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	症状、徴候
損傷、中毒及びその他の外因の影響	損傷、中毒
健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	健康状態

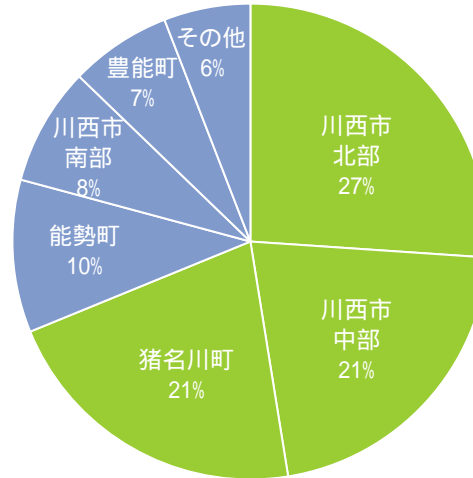
調査対象日の入院患者データ(H19年10月16日)

疾病別構成割合 (N=187人)



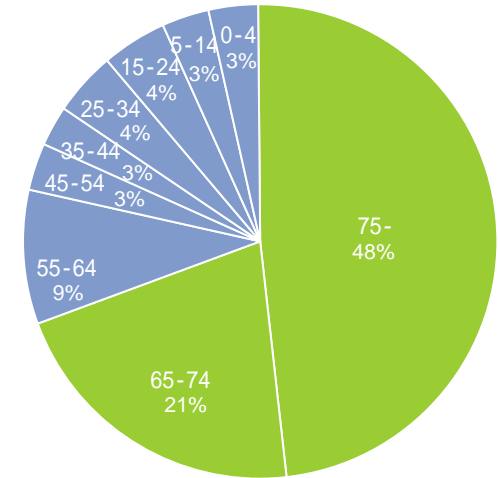
疾病別構成割合で10%以上の疾病は、「呼吸器系」「損傷・中毒」「新生物」「筋骨格系」「消化器系」となっている。

地域別構成割合 (N=187人)



最も入院患者が多い地域は川西市北部であり、次いで猪名川町、川西市中部となっており、この3地域で全体の約7割を占めている。

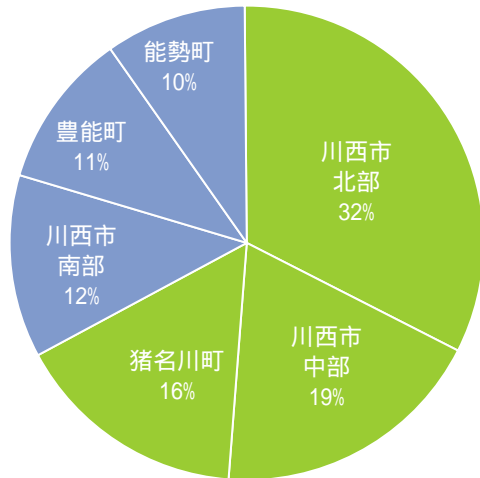
年齢別構成割合 (N=187人)



65歳以上の高齢者の入院患者が約7割を占めている。

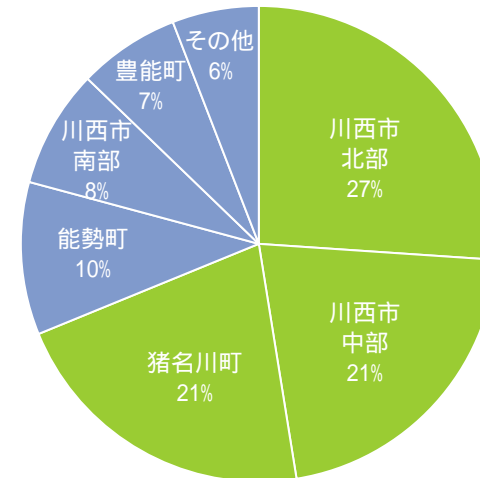
受療率を用いた推定入院シェアの精度

国保レセプトの自病院地域別患者構成



国保レセプトを用いた入院シェアは上記データを国保レセプトの総件数で除して求めている。

診療圏分析に用いた当院地域別患者構成

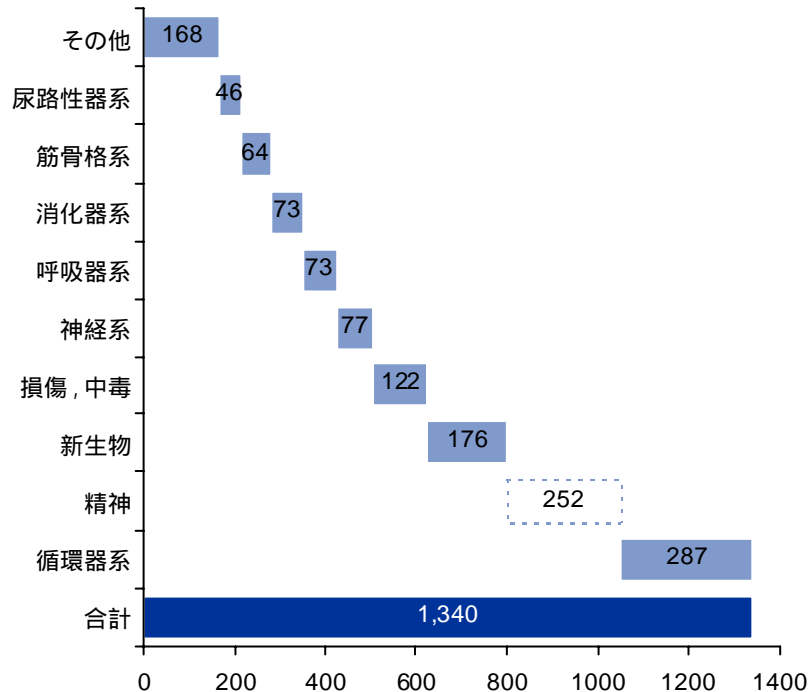


受療率を用いた入院シェアは上記データを受療率から計算した推定患者数で除して求めている。

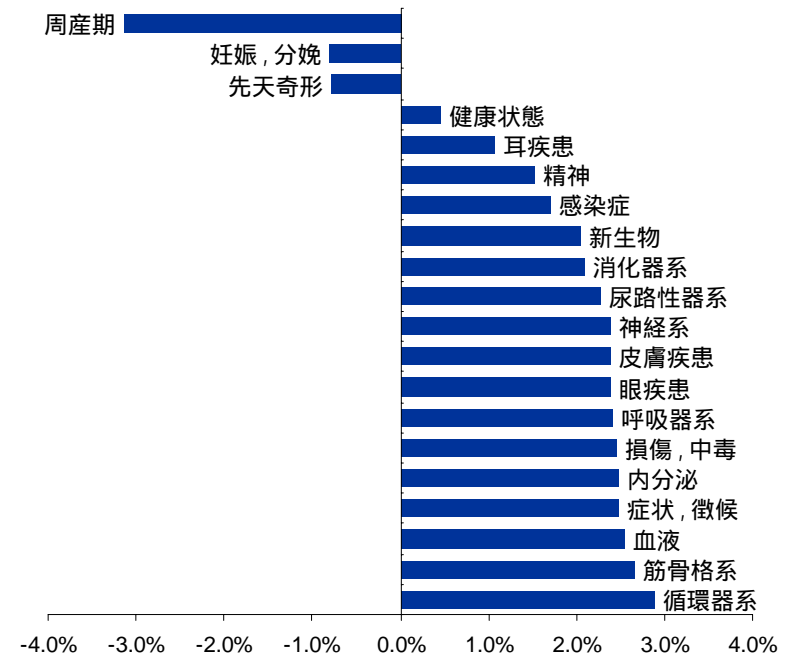
受療率を用いた入院シェアは、実際の数字である国保レセプトと類似したデータを用い、厚生労働省が発表する受療率を用いているため、示唆を得られるだけの精度はあると考えられる

北部エリアと川西市中部の一部においては、「循環器系」「新生物」「損傷・中毒」の推定入院患者数が多く、今後は「循環器系」の入院患者が増加すると考えられる。

H17年度の疾病別入院患者数構成(人)



H27年度にかけての年平均成長率

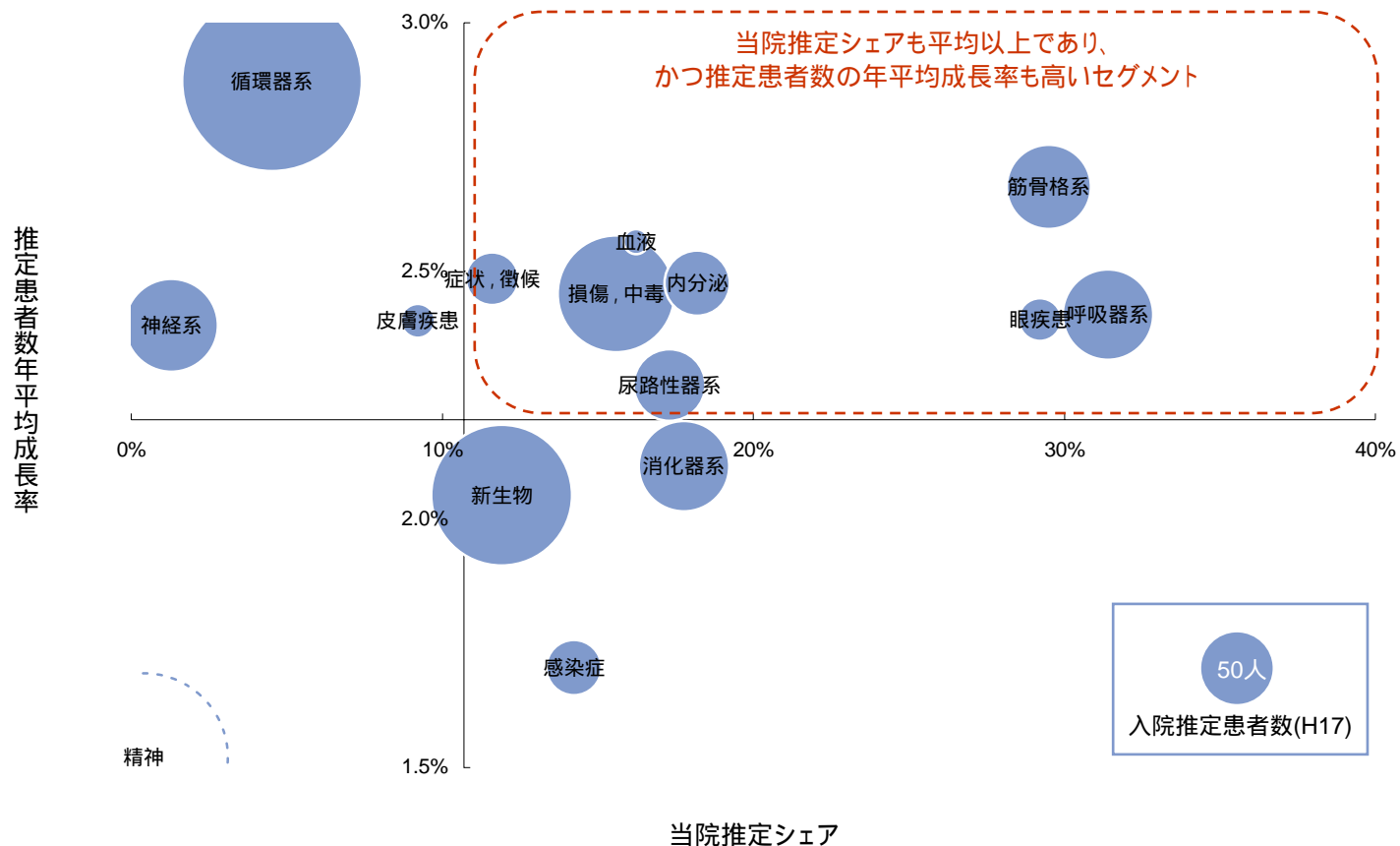


- 推定患者数1,340人/日中、「循環器系」「精神」「新生物」「損傷・中毒」で約6割を占めている。
- 「精神」は市立川西病院の診療科に属さない。

- 疾病別推入院患者数はH17年度からH27年度にかけて「周産期」などを除く殆どの疾病で増加するが、「循環器系」で最も増加すると推定される。

当院推定シェアも年平均成長率も高いセグメントには「損傷・中毒」「筋骨格系」「呼吸器系」等があり、推定患者数・成長率が共に高水準である「循環器系」は当院の推定シェアが低いと推定される。

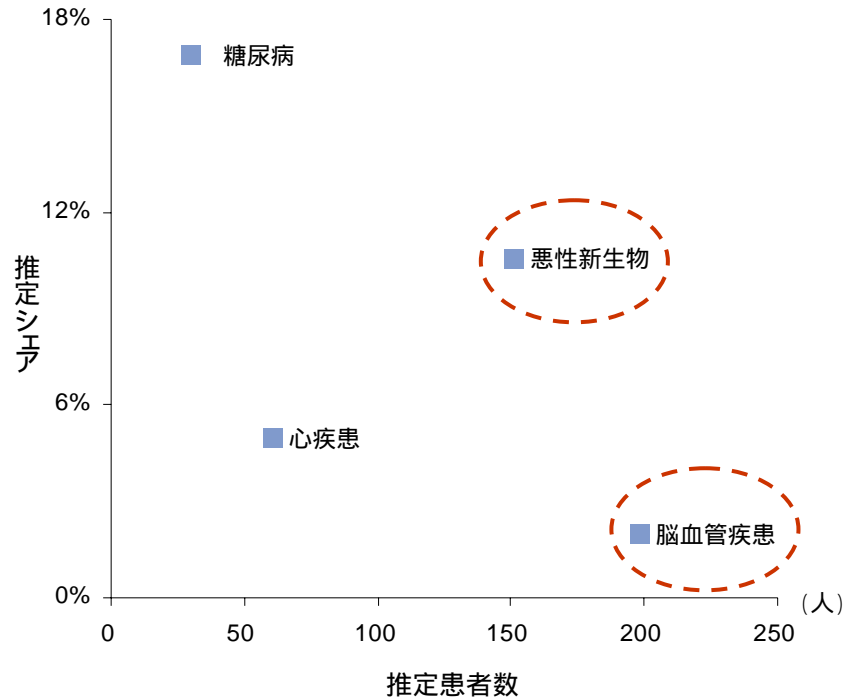
疾病別入院推定患者数と推定シェア、推定入院患者数年平均成長率の関係



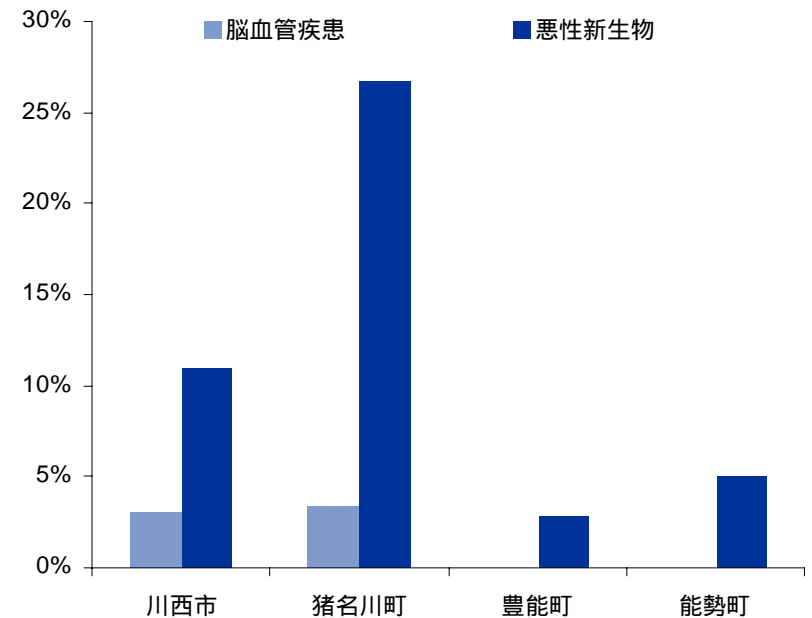
- 循環器系が最も推定患者数も多く、今後の推定患者数の増加幅も大きいと考えられる。
- 当院推定シェアも年平均成長率も高いセグメントにあり、かつ規模も50人以上あるのは「損傷・中毒」「筋骨格系」「呼吸器系」と推定される。

4疾病で見ると、「脳血管疾患」は推定患者数が最も多いものの推定シェアは最も低い水準にあり、「悪性新生物」は推定患者数、推定シェア共に4疾病の中では高い水準にある。

4疾病の推定患者数と推定シェア



「循環器系」「悪性新生物」の地域別シェア

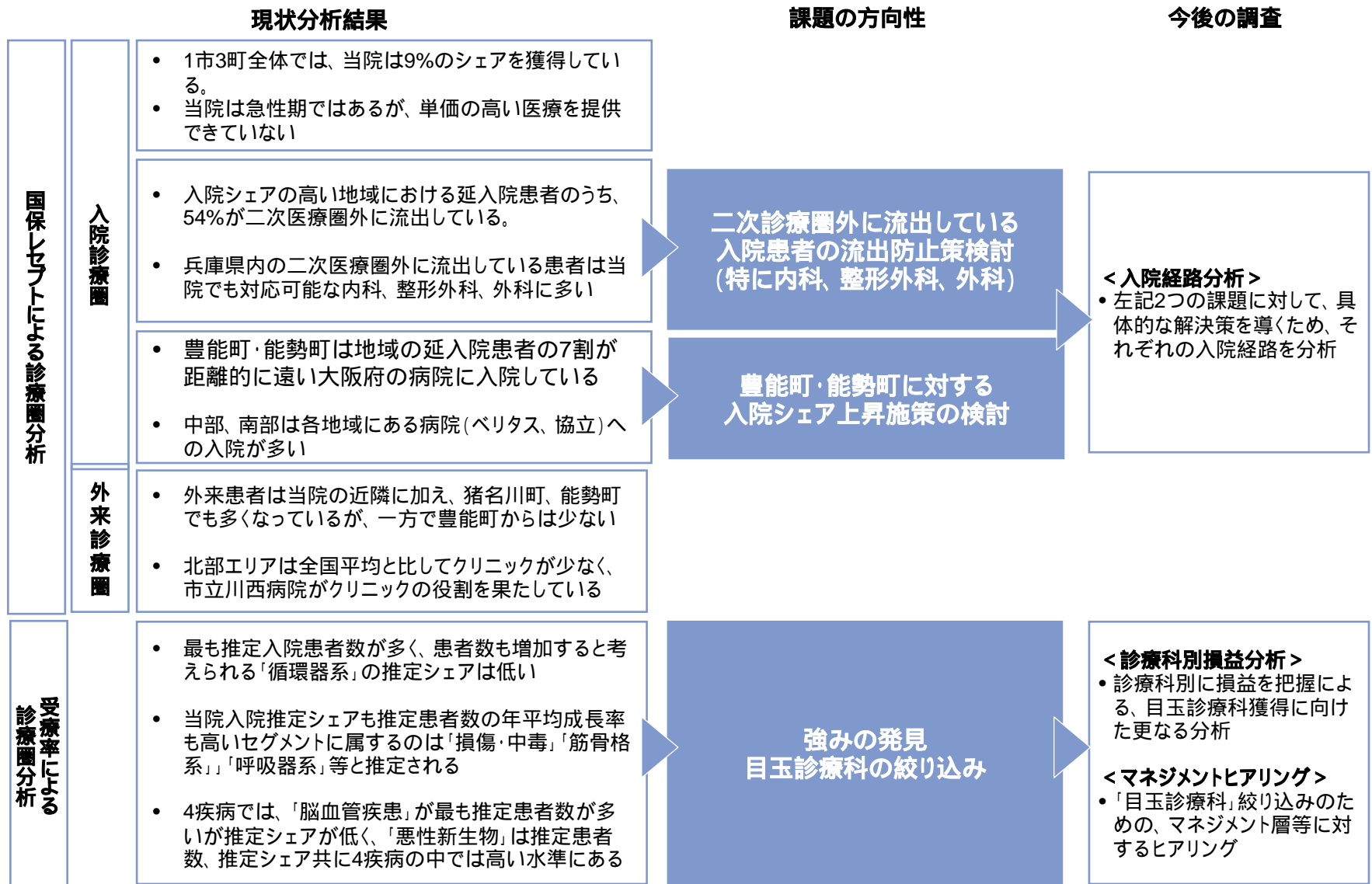


「川西市」は、川西市北部と中部の一部(シェアの高い地域)を指している

- 推定患者数を見ると、「脳血管疾患」の推定患者数が最も多くなっているが、推定シェアは2%程度と低い状況にあると考えられる。
- 次に推定患者数が多い、「悪性新生物」は10%以上の推定シェアを獲得できている。
- 「循環器系」は川西市で若干の入院シェアを獲得できているが、豊能町・能勢町に関しては全くシェアを獲得できていない。
- 「悪性新生物」は川西市と猪名川町では10%、25%のシェアを獲得できていると推定される。

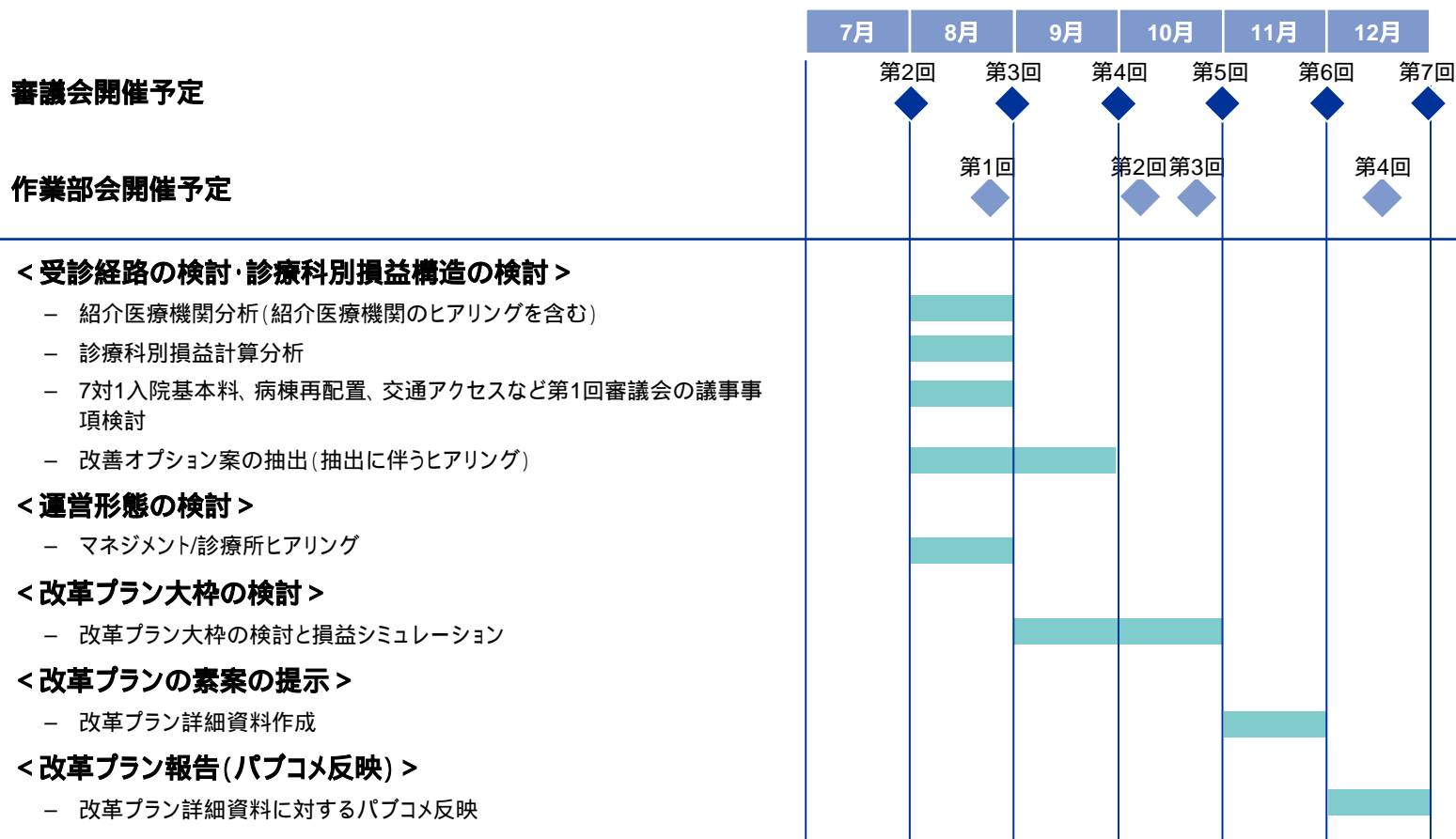
3. サマリーと今後の予定

現状分析結果と課題の方向性、及びそれに伴う今後の調査概要



今後の予定

今後の予定(概要)



第2回審議会資料(資料編)

2008年7月22日

目次

1. 国保レセプトによる入院データ	3
-------------------	---

2. 国保レセプトによる外来データ	6
-------------------	---

1. 国保レセプトによる入院データ

【国保レセプトによる入院データ】レセプトによる1市3町の患者数とそのシェア

入院レセプト

地域名	全体患者数	自病院患者数	シェア	県外受療数
一庫	129	42	33%	30
丸山台	212	21	10%	3
見野	138	33	24%	30
黒川	27	0	0%	12
笹部	35	1	3%	21
山下町	41	8	20%	3
山原	0	0	0%	0
清流台	48	9	19%	30
西畦野	39	0	0%	30
大和西	392	105	27%	30
大和東	434	140	32%	30
長尾町	5	0	0%	5
東畦野	212	74	35%	2
東畦野山手	172	22	13%	30
美山台	75	30	40%	30
緑ヶ丘	6	0	0%	6
北部合計	1,965	485	25%	292
水明台	397	63	16%	30
向陽台	353	33	9%	30
緑台	329	33	10%	2
東多田	257	20	8%	30
鶯台	114	0	0%	5
平野	46	16	35%	14
矢間	296	0	0%	120
柳谷	0	0	0%	0
南野坂	70	0	0%	31
湯山台	166	0	0%	30
西多田	219	0	0%	30
石道	1	0	0%	1
赤松	30	0	0%	30
多田院	99	0	0%	6
多田院西	12	12	100%	12
多田桜木	89	30	34%	26
清和台西	392	1	0%	60
清和台東	385	8	2%	12
若宮	0	0	0%	0
新田	222	2	1%	30
芋生	26	0	0%	26
錦松台	51	21	41%	8
絹延町	69	23	33%	6
鼓が滝	364	22	6%	30
中央部合計	3,987	284	7%	569

地域名	全体患者数	自病院患者数	シェア	県外受療数
満願寺町	4	0	0%	4
日高町	67	0	0%	7
萩原	206	25	12%	30
萩原台西	142	0	0%	8
萩原台東	57	0	0%	12
美園町	240	30	13%	56
南花屋敷	503	16	3%	42
東久代	99	0	0%	30
中央町	237	0	0%	21
滝山町	144	9	6%	30
出在家町	141	0	0%	13
小花	344	30	9%	30
小戸	424	0	0%	30
松が丘町	79	0	0%	30
寺畑	101	0	0%	30
けやき坂	104	15	14%	5
栄根	64	0	0%	17
栄町	216	0	0%	30
鶯が丘	68	0	0%	10
鶯の森町	68	0	0%	15
下加茂	308	0	0%	30
加茂	565	50	9%	30
火打	45	0	0%	15
花屋敷	266	0	0%	30
花屋敷山手町	47	0	0%	8
霞ヶ丘	33	0	0%	15
丸の内町	29	2	7%	2
久代	609	0	0%	42
南部合計	5,210	177	3%	622
北中南合計	11,162	946	8%	1,483

地域名	全体患者数	自病院患者数	シェア	県外受療数
猪名川町	1,661	237	14%	832
能勢町	1,378	145	11%	956
豊能町	1,663	162	10%	1,248

(単位:人)

【国保レセプトによる入院データ】レセプトによる1市3町の患者の医療費とそのシェア

入院レセプト

地域名	全体医療費	自病院医療費	シェア
一庫	4,217,070	969,030	23%
丸山台	6,856,870	1,634,550	24%
見野	4,339,980	936,360	22%
黒川	1,908,410	0	0%
笹部	2,097,020	279,650	13%
山下町	1,018,220	538,760	53%
山原	0	0	0%
清流台	906,990	172,460	19%
西畦野	1,410,180	0	0%
大和西	9,817,450	2,970,320	30%
大和東	16,746,420	5,616,170	34%
長尾町	177,150	0	0%
東畦野	5,541,640	2,019,990	36%
東畦野山手	5,255,530	661,180	13%
美山台	12,090,890	502,630	4%
緑ヶ丘	194,250	0	0%
北部合計	72,578,070	16,301,100	22%
水明台	15,203,860	2,168,320	14%
向陽台	10,518,920	1,990,240	19%
緑台	9,338,890	1,284,420	14%
東多田	8,466,040	537,260	6%
鷺台	2,913,990	0	0%
平野	4,819,310	540,900	11%
矢間	8,216,470	0	0%
柳谷	0	0	0%
南野坂	1,140,330	0	0%
湯山台	6,814,600	0	0%
西多田	8,210,360	0	0%
石道	37,000	0	0%
赤松	306,790	0	0%
多田院	2,398,120	0	0%
多田院西	293,190	293,190	100%
多田桜木	2,747,810	869,240	32%
清和台西	11,118,270	15,440	0%
清和台東	15,955,780	178,290	1%
若宮	0	0	0%
新田	5,732,770	50,080	1%
芋生	2,187,710	0	0%
錦松台	1,551,530	487,490	31%
絹延町	2,547,570	496,740	19%
鼓が滝	9,859,310	935,410	9%
中央部合計	130,378,620	9,847,020	8%

地域名	全体医療費	自病院医療費	シェア
満願寺町	152,950	0	0%
日高町	896,800	0	0%
萩原	4,911,880	891,210	18%
萩原台西	5,605,300	0	0%
萩原台東	1,599,840	0	0%
美園町	6,724,670	600,140	9%
南花屋敷	11,935,990	537,260	5%
東久代	1,855,470	0	0%
中央町	4,993,100	0	0%
滝山町	6,346,230	221,840	3%
出在家町	4,692,710	0	0%
小花	9,536,950	489,640	5%
小戸	13,460,220	0	0%
松が丘町	2,692,880	0	0%
寺畑	2,897,460	0	0%
けやき坂	3,295,490	875,410	27%
栄根	2,749,840	0	0%
栄町	6,385,680	0	0%
鷺が丘	2,245,770	0	0%
鷺の森町	1,839,850	0	0%
下加茂	7,930,890	0	0%
加茂	13,827,570	995,720	7%
火打	918,290	0	0%
花屋敷	6,442,640	0	0%
花屋敷山手町	3,627,540	0	0%
霞ヶ丘	1,235,890	0	0%
丸の内町	1,159,630	75,180	6%
久代	14,149,480	0	0%
南部合計	144,111,010	4,686,400	3%
北中南部合計	347,067,700	30,834,520	9%

地域名	全体医療費	自病院医療費	シェア
猪名川町	61,934,160	8,181,510	13%
能勢町	39,277,610	3,721,120	9%
豊能町	55,126,950	4,618,270	8%

(単位:人)

2. 国保レセプトによる外来データ

【国保レセプトによる外来データ】レセプトによる1市3町の患者数とそのシェア

外来レセプト

地域名	全体患者数	自病院患者数	シェア	県外受療数
一庫	306	60	20%	48
丸山台	1,026	80	8%	195
見野	670	92	14%	120
黒川	67	8	12%	37
笹部	438	71	16%	80
山下町	268	37	14%	42
山原	140	25	18%	20
清流台	147	17	12%	31
西畦野	265	68	26%	32
大和西	2,103	280	13%	310
大和東	3,015	362	12%	541
長尾町	68	8	12%	18
東畦野	1,036	158	15%	133
東畦野山手	461	60	13%	81
美山台	614	50	8%	116
緑ヶ丘	211	38	18%	45
北部合計	10,835	1,414	13%	1,849
水明台	2,348	238	10%	350
向陽台	2,195	181	8%	399
緑台	2,477	194	8%	481
東多田	1,312	59	4%	187
鶯台	859	42	5%	200
平野	816	32	4%	144
矢間	601	17	3%	87
柳谷	41	1	2%	1
南野坂	267	3	1%	56
湯山台	1,884	57	3%	391
西多田	929	48	5%	86
石道	72	11	15%	8
赤松	36	12	33%	1
多田院	485	23	5%	87
多田院西	24	4	17%	8
多田桜木	497	10	2%	110
清和台西	2,806	147	5%	375
清和台東	2,718	143	5%	357
若宮	28	0	0%	3
新田	1,077	45	4%	162
芋生	37	5	14%	7
錦松台	469	8	2%	50
綿延町	267	12	4%	85
鼓が滝	1,282	39	3%	220
中央部合計	23,527	1,331	6%	3,855

地域名	全体患者数	自病院患者数	シェア	県外受療数
満願寺町	126	7	6%	22
日高町	154	0	0%	18
萩原	909	17	2%	136
萩原台西	1,042	30	3%	227
萩原台東	544	4	1%	153
美園町	730	15	2%	124
南花屋敷	2,220	4	0%	333
東久代	780	5	1%	69
中央町	529	2	0%	103
滝山町	441	7	2%	111
出在家町	591	8	1%	92
小花	1,427	13	1%	265
小戸	1,490	7	0%	366
松が丘町	433	9	2%	101
寺畑	504	3	1%	126
けやき坂	1,420	56	4%	287
栄根	689	6	1%	166
栄町	1,119	8	1%	197
鶯が丘	326	3	1%	63
鶯の森町	329	14	4%	93
下加茂	1,529	3	0%	181
加茂	2,418	9	0%	312
火打	355	1	0%	61
花屋敷	1,153	2	0%	196
花屋敷山手町	201	2	1%	45
霞ヶ丘	548	11	2%	81
丸の内町	211	3	1%	26
久代	2,520	3	0%	179
南部合計	24,612	245	1%	4,111
北中南合計	58,974	2,990	5%	9,815

地域名	全体患者数	自病院患者数	シェア	県外受療
猪名川町	7,982	581	7%	1,202
能勢町	4,068	321	8%	189
豊能町	13,961	254	2%	11,454

(単位:人)